

依頼センターからの情報は以下のとおり。

(2) 残留農薬の分析

過去に加工食品で検出された報告^(注2)のある農薬を含む345種類について、苦情同型品中の残留濃度を調べた。

その結果、調べた全ての農薬について不検出であった。

(注2) 厚生労働省「食品中の残留農薬等検査結果」(平成23～27年度分)

(3) 重金属の分析

苦情同型品で抽出したお茶について、重金属の分析を行った。

約80℃に温めた500mlの湯にティーバッグ1包を入れ、1分間抽出したものを、高周波誘導結合プラズマ発光分光分析法(ICP-AES)により調べた。

その結果、重金属のうち、毒性が強く蓄積性の高い、鉛、カドミウム、水銀及びヒ素は、ティーバッグを入れていない湯と同レベルであった。

3. 結論

テスト及び調査の結果、以下のことが分かった。

- ①過去に加工食品で検出された報告のあるものを含む農薬345種類について、残留濃度を調べたところ、全ての農薬について不検出であった。
- ②苦情同型品で抽出したお茶について、重金属の分析を行ったところ、毒性が強く蓄積性の高い、鉛、カドミウム、水銀及びヒ素は、ティーバッグを入れていない湯と同レベルであった。

以上、調査した範囲では、苦情同型品から農薬や毒性の強い重金属は検出されなかった。